

令和7年度 日置市教育委員会定例会(4月)

- 日 時：令和7年4月22日(火) 午後4時00分～午後5時00分
○場 所：日置市中央公民館 研修2・3(3階)
○出席者：奥教育長
委 員：内村委員・中島委員・鶴木委員・中川委員
事務局：東(事務局長兼教育総務課長)・段原(学校教育課長)
入佐(社会教育課長)・内田(東市来支所教育振興課長)
坂上(日吉支所教育振興課長)・大迫(吹上支所教育振興課長)
宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会4月の定例会を始めます。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回3月の議事録の承認をお願いいたします。変更や修正等はありませんか。

(特になし)

よろしかったでしょうか。

(異議なし)

それでは、3月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、内村委員と中川委員をお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員からお願いいたします。

中島委員： 前回の定例会以降の出席等について、ご報告させていただきます。

3月24日は、湯田小学校の卒業式に教育委員会告辞のため、出席させていただきました。令和6年度第78回卒業式が、卒業生34人、卒業生保護者・在校生・来賓出席のもと行われました。

卒業証書授与の際、壇上横に卒業生一人一人の将来の夢が映し出され、山下校長より卒業証書が手渡されていました。

校長式辞では「卒業生はコロナ前・コロナ禍・コロナ後を過ごし、活動に制限がある中でも、学校行事など協力し合い全員で乗り切ってきた。この経験を中学校でも生かして頑張ってもらいたい」と述べられました。

最後に「旅立ちの日に」の合唱で卒業生を送り、歌詞の一節「勇気を翼にこめて希望の風にのり、ひろい大空に夢をたくし頑張ってもらいたい」とエールが贈られました。

式が終わった後、今回転出される伊作田小の糸井校長・美山小の猿渡校長・鶴丸小の野間校長・東市来中の岡田校長に訪問させていただき、これまでの感謝と、新天地での活躍に向けてあいさつをしてきたところです。

4月5日は、令和7年度日置市管理職等歓迎会に出席させていただきました。

4月7日は、鶴丸小学校入学式に教育委員会告辞のため、出席させていただきました。管内異動により着任された田平校長より、新入生23人に「鶴丸小学校で新しい友達をつくり、仲良く楽しく、勉強や行事に励んでほしい」と式辞が述べられ、23人が元気に返事をしてくれました。

新入生紹介では、一人一人の名前は呼ばれず、新入生あいさつということで、全員で立ち、振り向いて、保護者、在校生に一礼をして終わる形になっていました。幼さは見られるものの、真新しい制服を着た児童に、校訓「つよく・たたく・むつまじく」のとおり学校生活を送ってもらいたいと思いました。

4月7日は、令和7年度第79回伊集院中学校入学式に、教育委員会告辞のため出席させていただきました。

伊集院小、飯牟礼小、離島、県外より入学する156人が紹介された後、校長式辞で小野校長が「風格ある教育」について話されました。

まず、薩摩藩士 有馬新七先生の「時体考」からとった校訓「美しき魂」について、「人は生まれながらにして、正しく、直く、潔き真の心を具えている者なり。此の真の心を常に失わず、偽らず、真の心を持ちすべてのことにあたるを人の真の道とい

う。されど、人は時に酷き情わきて名誉・利欲を欲し、人としてあるまじき行いをなすことあり。この時、直ぐ潔きもとの姿にたちかえり、いつも春山に今を盛りと美しく咲きたる桜の、朝日に照り輝くが如き“美しき魂”になることこそ、誠の学問にほかならぬ」と話されました。

次に、与謝野晶子先生の歌集から「劫初(ごふしょ)より作りいとなむ殿堂に われも黄金の釘一つ打つ」は、「人として生まれたかぎりには、何か自分の存在を残したい。自分は無用の存在ではなく、自分の人生は自分なりに意義があったと振り返りたい」という心境が込められていると話されました。

私自身も改めて教育の本分を知らされたところです。154人の新入生の更なる成長に期待したいと思います。

4月18日は、令和7年度転入教職員宣誓式に出席させていただきました。

奥教育長より「市制20周年の年、新天地で児童生徒との出会いがあり、期待と不安を胸に始まったことと思う。小学校14校・中学校5校・義務教育学校1校、総勢3,650人の児童生徒とともに、新たに策定した第4期教育振興基本計画に定める『風格ある教育』を目指し、『魅力ある教育・職場』に邁進してほしい」とあいさつがありました。

転入者代表の宣誓のもと、新規採用16人を含む93人の転入教職員の方々が、今後、日置市の児童生徒に愛情と情熱をもって一層頑張してほしいと思ったところです。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。鵜木委員、お願いいたします。

鵜木委員： 報告させていただきます。

3月22日に開催されました日置市管理職等送別会に出席しました。

本年度は8人の校長、9人の教頭、教育委員会3人の計20人が異動されました。会場の広さの関係で、管外へ転出される18人の方々は設営された雛壇で、管内異動のお二人は一般席での対応となりました。

この異動で校長に抜擢される4人の方々には、新たに赴任される学校の最高責任者として、これまでの経験を踏まえ、ご自身の理想とする学校経営に邁進してほしいと願いました。

詳細につきましては、本日お集まりの大部分の方々が出席されていまして、割愛いたします。転出される方々が次の任地でもご自身の持ち味を発揮して、本県の教育の振興・発展のために頑張っていたきたいと願う気持ちで送らせていただきました。

24日は、伊集院北小学校の第68回卒業式で、教育委員会の告辞をさせていただきました。

本年度の卒業生は男子12人、女子10人の計22人でした。卒業証書授与では、呼名をされた一人一人が受け取った証書を壇上で掲げ、6年間の感謝の気持ちを披露する姿が印象的でした。

式辞では、田平校長が「皆さんは心をつにしてボランティア活動や学業に頑張るとともに、下級生のお手本としても頑張ってくれた。これからの社会は人とのコミュニケーションが大切。人と積極的に関わり社会に貢献してほしい」と語られ、これからのについて「一つ、自分に厳しく、色々な事に挑戦して壁を乗り越えてほしい。うまくいかない事もあるが、人のせいにならず、自分の努力不足だと前を向いて歩いてほしい。人に勝つより自分に勝つ人になれ。二つ、人に優しくあってほしい。優しさは目に見えない効果がある。出会う人を大切にしてほしい。人を大切にするほど優しい人になれる」と続けられました。

保護者に対しては「子どもとの対話を大切にして、これからも支えていってほしい」とお願いをされ、「中学校での更なる活躍を期待したい」と結ばれました。

祝辞で永山市長が「期待と不安で迎えた入学から6年、大きかったランドセルも今では小さくなった。コロナ禍で制約のある中で、心身ともに立派に成長された。夢や目標に向かって諦めない心と気持ちをもってほしい」と子ども達に語り、保護者や地域の方々へは「学校や地域の協力があって、子どもの成長がある。これからは子ども達の成長する姿を見守ってほしい」とお願いされました。

入来PTA会長は「楽しかった事や嬉しかった事、辛かった事や苦しかった事も全て乗り越えてきた。感謝の心を忘れないでほしい。感謝の心は君達を支えてくれると思う。中学校では色々な事が待っていると思うので、春風のように爽やかに進んでいてほしい。全ての人の未来が輝かしいものであることを祈念した

い」とお祝いの言葉を述べられました。

続いて、卒業生への記念品として卒業証書を保管するケースが贈られました。お別れの言葉で6年生が下級生に「6年間の大きな希望の中で卒業を迎えた。後に続く皆さんには、これから立派に伊集院北小学校を支えてほしい」と校旗を代表に手渡し、受け取った5年生の児童は「学校の素晴らしさを受け継ぎ守っていくので、皆さんは北小の伝統と誇りを胸に、立派な中学生になってください」と送る言葉を述べました。

保護者代表あいさつに立たれた黒木由紀子さんは「卒業証書を受け取る子どもの姿に万感の思いを感じた。幼子と手を繋いで入学して6年が経つ。コロナ禍で粛々と過ごさなければならない日々もあったが、心も体も成長して6年生となり、学校を引っ張ってくれた。これからの社会で歩む道は平坦ではないと思うが、夢に向かって歩んでいってほしい」と心の内を述べられました。

最後に全員で校歌を斉唱して式は終了しました。

4月5日の日置市管理職等歓迎会については、中島委員が触れられましたが、転入者あいさつで一人一人から新任地での決意が語られ、新たな任地での益々の活躍を期待したいと思いました。

7日は、午前中に妙円寺小学校の入学式、午後は伊集院北中学校の入学式に出席しました。

妙円寺小学校には74人の児童が新1年生として入学しました。式辞で校長が「妙円寺小学校は楽しい学校です。皆さんの入学を在校生皆が待っていました。1年生になった皆さんは、3つの約束をしてほしい。1つは、元気なあいさつと返事をする事。2つ目は友達と仲良くすること。3つ目は車に気をつけること」と述べられ、「約束できる人」と問いかけられると、全員が「はい」と手を挙げてくれました。

保護者に対しては「妙円寺小学校では、一人一人の子どもを大切にしたい愛のある教育を進めたい。手を取り合っていきましょう」と語られました。

降壇された後、1年生の前に進んで「校長先生は皆と一緒に歌を歌いたい」と言って、「1年生になったら」を合唱されました。

私も告辞の前に「1年生の皆さんはお話を聴く姿勢も立派で、

歌もとても上手でした。私もお話をしますので聴いてください
ね」と前置きをして、告辞をさせていただき、「お話を聴く姿勢
もとても立派でした」と伝え、降壇しました。

市長の祝辞では「初めての学校に緊張していると思う。これから
楽しい学びが待っている。運動や勉強、遠足やおいしい給食な
ど、楽しい事がいっぱいある。困難にぶつかっても乗り越えられ
よう頑張ってほしい。お兄さん、お姉さんに相談しながら楽し
い思い出をたくさん作ってほしい。市としても教育環境の整備な
どに尽力して皆さんを支えていく」と語られました。

P T A 会長は「新しい環境にウキウキしていることと思う。小
学校では運動会や遠足などの楽しい行事がたくさん待っている。
幼稚園や保育園の時と違って自分の事は自分でしなければならない。
しかし、周りに6年間一緒に学ぶ友達や家族がいるので、安
心して学校生活を送ってほしい」と述べられました。

歓迎の言葉で、6年生の児童が「皆さんの入学を楽しみに待っ
ていた。妙円寺小学校は3つの良いところがある。1つ目は、校
庭が広く、花が咲いて虫取りができる。2つ目は、図書室には図
鑑や本などが8,000冊ある。3つ目は、給食がおいしいので楽し
みにしてほしい。これから足し算や引き算などの勉強が始まる。
掃除も皆です。困った事があったら、6年生が助けに来てくれ
るので、楽しい学校生活を送ってほしい」と述べました。

午後に行われた伊集院北中学校では、101人の生徒が入学しま
した。本年度から制服がブレザーになったそうで、やや大きめの
服を身にまとった新入生の姿は、幾分大人びて見えました。

式では、学級ごとに新1年生の呼名が行われ、続いて校長の式
辞がありました。式辞では「花々が咲き誇る中で、皆さんを迎え
られて嬉しく思う。この壇上から見る景色が、これまでと異な
る。制服が替わった。世の動きが変わる中で、本校の制服も今年
から替わる。しかし、時代が変わっても、変わらぬものがある。
それは校訓にある『立志 躍動 友情』である。立志とは、志をも
って粘り強く学び続けることであり、躍動とは、たくましく生き
生きと活動することである。最後の友情とは、友達と協力して誠
実にたくましく生き、社会に貢献することである。これらは、変
化のスピードが速くなっても、皆さんを支える励みとなる。北中

に新たな伝統を築いてほしい。中学校期は自分の道を自分で見つけ、自分で切り開き、未来を目指して突き進む青年期の入口に当たる。一人一人は世界に一つだけのかげがえのない存在であるので、未来に向かって新しい事にチャレンジしながら3年後に新しい自分を見つけて巣立てるよう努力してほしい。学校も皆さんをサポートし、協力を惜しまない」と語られました。

市長祝辞では「新しい友達や先生達との触れ合いの中で、学校のために協力してほしい。周りには支えてくれる人がたくさんいる。自信をもって自分の道を切り開いてほしい。保護者の皆さんも一人の人間として子ども達にしっかりと向き合ってもらいたい。市も教育環境の整備に全力で取り組み、学校を支えていく」と述べられました。

P T A会長は「入学に当たり、わくわくしたり不安を感じたりするだろうが、ここから誰もが一步を踏み出すことになる。チャレンジすることが大事。人生は思いどおりにはならないが、チャレンジしたとおりになる。自分の未来を信じて進んでほしい」と述べられました。

在校生の歓迎の言葉では、生徒会長の恒吉娃奈さんが「中学校に入学して、教科ごとに先生が入れ替わる授業が展開されることで、勉強についていけるか心配だと思う人がいるかもしれないが、私達も通ってきた道。心配はいらない。北中では3つの伝統がある。1つ目は、きれいに掃除をすること。膝付き掃除が励行されている。2つ目は2分前着席、1分前の黙想。3つ目は立ち止まってのあいさつ。希望すれば部活動もある。生徒会も各専門部が様々な仕事をしているので、学校がより良くなるよう生徒会活動に積極的に関わってほしい。困ったり不安になったりした時には、先輩である私達を頼ってほしい」と語りかけました。

入学生の手紙の言葉では、堀口旦陽さんが「今、大きな期待と不安が入り混じっている。目標を掲げて学校生活を送りたい。1つ目は勉強、英語を詳しく学びたい。また、本をたくさん読みたい。2つ目は、あいさつと思いやりのある行動がとれるようにしたい。校訓の下、文武両道に励み、スマイル北中の一員となれるよう取り組んでいく。躓いたら原因を考えていきたい」と述べました。

18日の転入教職員宣誓式は、先程中島委員が詳しく述べられましたが、新規採用教員の中に、鹿屋体育大学で教えていた学生がおり、「東市来中学校に赴任しました」とあいさつに来てくれて、とても嬉しかったです。以上でございます。

奥教育長：　ありがとうございます。中川委員、お願いいたします。

中川委員：　4月より教育委員を拝命いたしました中川です。任命を受けて間もない中ではありますが、早速いくつかの地域行事に参加させていただきまして、地域の温かさと繋がりを実感する機会となりました。

4月7日に、花田小学校の入学式に出席いたしまして、告辞を読ませていただきました。新入生3人を迎える小さな入学式でしたが、その分学校全体の温かい雰囲気を感じられる素敵な式典でした。

入学式の前に新入生が、来賓として来ていた地域の自治会長の皆様と仲良く談笑する姿がとても微笑ましく、地域に見守られながら育っていく環境の素晴らしさを感じました。

式には新入生の保護者だけではなく、在校生の保護者の方々も来場されており、新入生の門出を祝って、地域全体で子ども達を支えていこうという姿勢が印象的でした。

私は告辞を任され、初めての公務ということもあり、大変緊張いたしました。新入生、保護者の皆様、そして先生方に向けて、お祝いと激励の言葉を届ける中で、自分が地域の一員として大切な役目を担っていることを改めて感じ、身の引き締まる思いがいたしました。

式の中では、校長先生とPTA会長から新入生に対して、あいさつや返事の大切さについてのお話がありました。新入生は真剣な眼差しで話に耳を傾けていて、その姿勢に心を打たれました。

2、3年生からは歓迎の言葉が贈られ、最後には全員での歌のプレゼントもありました。小規模校だからこそ感じられる一人一人を大切にする温かさや、地域との深い結びつきを改めて感じる機会となりました。

4月12日は、伊集院中学校で行われました雪窓院跡関連資料の調査報告会にも参加いたしました。新聞やテレビで報道された日本最古級の石橋の発見を知り、是非実物を見てみたい、調査

のお話を聴いてみたいという思いで伺いました。

会場にはたくさんの地域の方々が参加しており、注目の高さを実感いたしました。発掘調査には、伊集院中学校の生徒さんも参加されたとのことで、当日も実際に調査に関わった生徒さんがいらしており、直接お話を聴くことができました。「軽い気持ちで参加したけれど、こんなにすごい発見になるなんて驚いた。とても良い経験になった」と目を輝かせながら語る姿が、学びが地域と繋がり、子ども達の心を動かしていることを感じさせました。

中学校の敷地内にこのような歴史的価値のある遺跡があるというのは、地域にとって大きな誇りであり、今後の調査の進展はもちろん、子ども達への教育的な活用も大いに期待されます。

これらの活動を通して、地域は子ども達を支え、子ども達もまた地域に学びながら育っていく、その循環が確かに存在していることを実感いたしました。

委員として、これからもその循環がより良い形で続いていくよう、地域の声に耳を傾け、役目を果たしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

奥教育長： ありがとうございます。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

3月24日、妙円寺小学校の卒業式に出席しました。

式場に入る前に、卒業生が待機していましたが、爽やかなあいさつをしてくれて、学校目標「先手あいさつ 目指せ あいさつ日本一」が習慣化されており、とても気持ちよく式場に入ることができました。

卒業生、1組39人、2組40人の計79人が、一人一人名前を呼ばれて壇上に上がり、有村校長先生から卒業証書を授与されましたが、授与の様子がプロジェクターで映し出され、とても臨場感がありました。

式場には、妙円寺小を各方面で日頃から支援されている地域の関係者が来賓として出席されましたが、その数が物凄く多く、日頃から地域の多くの方々が児童を見守り、学校との協働活動の「ふるさと大作戦」を推進されている様子が理解でき、とても心強く、安心しました。

3月25日は、日吉学園の8人の先生方の離任式に出席しまし

た。

会場には在校生や卒業した9年生、OB、保護者の皆さんが、8人の先生方に感謝と思い出を込めて、多数出席されていました。

壇上では、松尾学校長、永野教頭以下6人の先生方が、在任中の思い出や在校生に激励の言葉を述べられましたが、最後の音楽教諭の竹村先生が、トランペットで森山直太朗さんの「さくら」を吹鳴され、トランペットの高音の響きに会場全体が静まり返り、素晴らしい音に聴き入っていました。

8人の先生方の退場時も、多くの出席者の拍手と感謝の言葉に送られて、会場を後にされました。

3月26日、令和6年度第3回日置市総合計画審議会に出席しました。事務局より、令和5年度総合計画評価についての報告、総合計画後期基本計画に係る検証シートの説明がありました。

その後、出席委員からの質疑があり、教育委員会関連では「青少年健全育成の子ども会加入率が減少しており、かつ、第3土曜日の子ども会の日、スポーツ大会等が開催されている」という意見に、「地域・家庭・学校との連携・協働の実践に向けて継続して社会教育の実践を図っていきます」と回答されました。

最後に、第3次日置市総合計画（素案 令和8年度～令和15年度）の説明があり、了承されました。

4月7日、午前10時から、緑豊かな和田小学校の入学式に出席しました。

今年の新入生は男児1人、女児3人の計4人が大きなランドセルを背負って、在校生、教職員、地域の方々の期待の大きな拍手の中、入場しました。

一人一人が名前を呼ばれると「はい」と大きな声で返事をしていました。ランドセルに夢と希望を詰めて、明日から元気に学校に登校することでしょう。

式の途中で在校生16人による歓迎のひまわり太鼓の演奏があり、少人数ながらバチ裁きの巧みさと迫力に圧倒されました。

4月7日、午後2時から、緑豊かな自然に囲まれた東市来中学校の入学式に出席しました。

新入生の1組37人、2組36人の計73人が、2週間前の小学校卒

業式から僅かな間に、たくましく成長し、新しい制服姿で堂々と入場しました。これからの中学3年間へ大きな希望に胸を膨らませている姿を見て、頼もしさを感じました。

最後に教職員の紹介があり、29人の皆さんが肥後校長の下、一致団結して生徒に寄り添った教育をされるようにと切に願いました。

4月8日は、吹上高校の入学式に出席しました。

今年度の新入生は、電気科22人、電子機械科24人、情報処理科18人の計64人でした。一人一人が名前を呼ばれると「はい」と返事をして、夢と希望に燃えた意気を感じました。

新任の徳丸校長先生から「全員が入学許可され、いよいよ吹上高校生活がスタートしました。向こう3年先を見通して、国家取得に挑戦し、技術の向上を図り、部活動などに励んで、仲間と笑い、語りあい、充実した3年間になるように」と願いました。

3月22日の管理職等送別会、4月5日の管理職等歓迎会、4月18日の日置市転入教職員宣誓式は、中島委員、鵜木委員、中川委員が詳しく述べられましたので、私からは割愛いたします。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。

それでは私からですが、委員の皆様と同じように卒業式・入学式に出席させていただきました。

また、教育委員の交代がございましたので、3月31日に吹上支所中央公民館で、福田前教育委員に退任の辞令を交付いたしました。4月1日は、新任の中川教育委員の辞令を、市長室で市長から交付していただきました。よろしくお願いいたします。

それから、市の関係ではありませんが、県で4月18日に、県立いろは中学校の開校式・入学式に出席いたしました。報道等の皆様もご覧になったと思いますが、合計19人の方が入学されました。1年生が16人、2年生が3人でした。

新聞等でも報道されたように、開校式では70才の女性の方、入学式では65才の男性の方が、それぞれご事情は違いますが、学ぶべき時に学べなかったことへの後悔があり、今回いろは中学校が開校したことで、新たな希望を抱いて入学をしたという喜びが語られました。大変感動的な開校式・入学式でございました。

今後これが継続していくとともに、鹿児島県としては更に第2、第3の夜間中学校を目指したいということでした。以上でございます。

4 議事

【報告第1号 日置市教育委員会事務局職員の任命について】

奥教育長： 報告第1号日置市教育委員会事務局職員の任命について説明をお願いいたします。

東局長： 報告第1号日置市教育委員会事務局職員の任命について、ご説明いたします。日置市教育委員会事務局職員について、臨時に代理し、別紙のとおり任命したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により報告するものでございます。

別紙になります。転出者ですが、田代社会教育課長が吹上支所長に、神之門教育振興課長が地域づくり課長、前村社会教育課長補佐が建設課長補佐、田原教育振興課長補佐が財政管財課へ、大重東市来学校給食センター事務長が税務課へ、高山学務係長が財政管財課へ、野上日置南学校給食センター事務長が退職となっております。

転入者でございます。地域づくり課から牧迫学務係長、介護保険課から入佐社会教育課長、こども家庭庁から派遣を終えまして笹川社会教育課長補佐、市民生活課から谷口東市来学校給食センター事務長、吹上支所産業建設課から大迫教育振興課長、企画課から上村教育振興課長補佐、市民生活課から下野日置南学校給食センター事務長となっております。

4月1日から辞令交付に基づき、任命されたものでございます。以上です。

奥教育長： ただ今説明がありました日置市教育委員会事務局職員の任命につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第1号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第1号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第1号 承認】

【報告第2号 日置市教職員住宅管理規程の一部改正について】

奥教育長： 報告第2号日置市教職員住宅管理規程の一部改正について説明をお願いいたします。

東局長： 報告第2号は、日置市教職員住宅管理規程の一部改正についてであります。日置市教職員住宅管理規程の一部改正について、臨時に代理し、別紙のとおり改正したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により報告するものでございます。

別紙をお開きください。日置市教職員住宅管理規程の一部を改正する訓令です。

5ページの新旧対照表をご覧ください。上市来小学校教頭住宅、美山小学校校長住宅、東市来中学校校長住宅、土橋小学校教頭住宅、妙円寺小学校教頭住宅を削除するものでございます。

今回の改正は、教職員の転出に伴い空いた住宅を、市の方針、また教育委員会の方針で、公共施設を総体的に削減していくということで、今回、削除するものでございます。

削除後は、財政管財課へ所管を移しまして、入札にかけて新たな入居者を探し、購入して住んでいただくことを目指します。以上です。

奥教育長： ただ今説明がありました日置市教職員住宅管理規程の一部改正につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第2号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第2号は、原案のとおり承認されました。

なお、教職員住宅が無くなった学校においては、ご自宅が近い方はご自宅から通っていただき、そうでない方は近隣に住宅を借

りてお住いいただくという体制に変わりますので、ご理解をお願いいたします。

【報告 第2号 承認】

5 議案その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
 - ア 東市来支所長教育振興課長事務取扱
 - イ 日吉支所教育振興課長
 - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

6 議案 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会4月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員 新木親志

署名委員 中島辰矢